

会議要録

会議の名称	平成２０年度 第１回文化財保護委員会
日 時	平成２０年８月７日（木）午前１０：００～
場 所	市役所４階 ４０４会議室
出席者 ※敬称略	【文化財保護委員】 田中明（委員長）、副島元子（副委員長）、 鈴木辰彦、柳下稔、富岡幸男、富岡進 ※欠席：新坂信昭 【和光市教育委員会】 今城功（教育長）、天野憲二（教育部長）、富岡敏光（生涯学習課長）、 高田次夫（課長補佐）、鈴木一郎、中岡貴裕
傍聴者	０名

１ 開会

＜新しい担当の自己紹介＞

平成２０年４月１日付で教育委員会生涯学習課に配属された職員を紹介。

→富岡敏光（生涯学習課長）、中岡貴裕（主事）の２名。

２ 教育長あいさつ

３ 文化財保護委員長あいさつ

４ 議題

（１）平成２０年度中間報告について

■事務局より資料にそって報告

＜概要＞

①発掘調査について

②平成２０年度埋蔵文化財の確認調査について

③文化財保護啓発事業について

→発掘現場見学会、和光市ふるさとガイドマップ配布、新倉ふるさと民家園管理運営

※詳細は別紙の資料を参考

＜質疑＞

特になし

(2) 指定文化財展について

■事務局より資料にそって報告

<概要>

平成20年8月16日(土)～31日(日)まで、和光市文化センターにおいて、「和光市指定文化財展 ～わこうで見つけた郷土のたから～」を開催する。

個人所有の指定文化財を含めて展示し、持ち運びできないものは写真パネル又はビデオ上映とする。また、指定文化財だけでなく、今後指定文化財となりうるような資料もあわせて展示する。

展示が始まったら、是非足を運んでいただきたい。

■質疑・意見

- ・文化財保護委員は、当日案内係として張り付く必要はあるか。

→【事務局】生涯学習課職員及び非常勤職員のための人員配置をしているので、特に張りつく必要は無い。

- ・手伝いをしたい場合、何をすればいいのか。

→【事務局】もしお手が空いている時があれば解説等でお手伝いいただきたい。

- ・文化財展の期間中、「白子囃子」や「ささら獅子舞」を実際に披露してもらうのはどうか。

→【事務局】残念ながら今回は事前の準備が整っていないため、難しい。

■委員からの提案

- ・将来指定される可能性がある文化財が展示されとのことだが、前向きに指定について検討したい。
- ・市場峡・市場上遺跡などをはじめ、市内の遺跡は今後市街化されてしまう。市が土地を買い取り、「史跡公園」のようにすることを検討してもらいたい。開発する際に、記録のための発掘にとどまらず、市街化調整区域などを生かし、史跡公園化の検討をお願いしたい。

<委員長総括>

- ・予算措置が必要なことから、この場では事務局に対し、前向きに上記の提案を検討を要望するということによいか。

→異議なし。

(3) 文化財体験講座について

■事務局より資料にそって報告

<概要>

和光市指定文化財「旧富岡家住宅」を守っていくため、「古民家サポーター養成講座」を実施してきたところだが、今後は古民家だけでなく文化財全般にわたるサポーターを養成していけるような制度を検討している。

その前段階として、今年度は「古民家サポーター養成講座」ではなく、「文化財体験講座」として実施する。

■質疑・意見

- ・「古民家サポーター養成講座」という名称だと、講座受講者は全員、現在古民家を管理している「古民家愛好会」に入らなければならないような印象となっていた。
- ・みんなで市内の文化財を守っていけるような制度なるように検討してほしい。

(4) その他

(Ⅰ) 遺跡調査会の発掘調査について

■事務局より資料にそって報告

<概要>

現在まで、和光市遺跡調査会による発掘調査が2件行われている。

(Ⅱ) その他

■委員からの提案

- ・ふるさとガイドマップができたが、文化財の所在地に案内板等がないため、マップどおりに行っても、どこに馬頭観音や地蔵などがあるかわかりづらい。市内の文化財をたどっていけるような看板を整備するのはどうか。
- ・「市内文化財めぐり」のような企画をするのはどうか。

<提案に対する委員の意見>

- ・地元の人にはわかるが、初めて歩く人には確かにわかりづらい。
- ・副都心線も開通し、市外からの訪問者も今後増えていくと思う。案内があったほうが親切。
- ・市内には見所がたくさんあるということをアピールするのによい。

<委員長総括>

- ・マップの作成を機に、案内看板の整備という流れを検討を要望するのはどうか。
- 異議なし。

5 閉会